



身近なまちの話題について情報をお寄せください。
広報紙に掲載された写真は差し上げますので、お気軽に問い合わせください。



歯並びや虫歯を楽しく学ぶ

地域子育て支援センター「歯育て教室」

6月4日からの「歯と口の健康週間」にあわせ5月13日、町地域子育て支援センターではやしデンタルオフィス(田川市)の山下総太郎医師を講師に「歯育て教室」が開かれました。教室では2歳の子をもつ山下先生から口をポカンと開けていることや猫背が歯並びに悪影響を及ぼすこと、お菓子のちょこちょこ食べは虫歯になりやすいことなどの説明があり、保護者からはフッ素塗布や歯磨きの頻度などの質問がありました。また、6月4日には同医院の歯科衛生士による歯磨き教室がくるみ保育園で開かれ、園児26人が参加。磨き残しのない歯磨きのコツを学びました。

↓子どもを持つ父の視点から歯の話をする山下先生の言葉に、参加者は聞き入っていました



↑歯科衛生士に歯磨きのコツを習う園児



↑「ピカピカになったよ」と白い歯を輝かせていました

↓選手代表の大田原さんによる選手宣誓



↑ホールインワンを狙い気合いの入る第一打

↓皆さんに見守られて行われた寺西町長による始球式



↑得点の高いピンへ狙いを定めた一投

暑さに負けず笑顔でプレー

老人クラブ連合会春のスポーツ大会

6月20日、そえだドームで添田町老人クラブ連合会主催のスポーツ大会が開かれました。大会には、約150人の皆さんがグラウンドゴルフと輪投げの2種目に分かれて競技。グラウンドゴルフではホールインワンが続出し、輪投げでも高得点が出るなど、どちらの競技も熱い戦いが繰り広げられました。プレー中は「いけ！」や「あー惜しい」といった声が飛び交いチームの垣根を越えて互いに声をかけあい、拍手を送りながら楽しそうにプレーしていました。結果はグラウンドゴルフ優勝庄一A、準優勝町一、3位伊原A。輪投げは優勝下津野、準優勝添田東、3位下落合でした。

彩り鮮やかなアジサイを楽しむ

英彦山花園アジサイ摘み取り体験会

6月21日と22日の2日間、英彦山花園でアジサイ摘み取り体験会が開かれました。参加者は青や紫など鮮やかに咲き、見頃を迎えた約2,000株のアジサイを、



↑初めてのアジサイ摘みはお母さんと一緒に

受け付けで配布される10リットルバケツから溢れそうなほど摘み取っていました。雨が多い梅雨時期ですが、そんな毎日にアジサイが潤いを与えてくれるでしょう。

11月には美味しいさつまいもに

添田中学校いも植え体験

6月19日、野田地区の畑で添田中学校2年生50人がいも植え体験を行いました。この日は、33.6℃を記録する真夏日となりましたが、生徒たちは道の駅



↑竹で穴をあけ、いもの苗を器用に植える生徒たち

遊舎ひこさんの理事や職員から植え方を教わると、水分補給のタイミングなどグループで工夫しながら、用意された1,500本のさつまいもの苗を植えていました。

↓「添田町林業インターンシップ・プログラム覚書」に署名する寺西町長ら関係者



↑調印後、添田町の林業振興を誓いあった(左から)株NOSUTAヴィコ・ガラさん、(有)九州パーク運輸林社長、ムハンマディヤマラン大学ガリト・ガト・ブラコサ林業学部長、寺西町長

未来のために楽しく防災を学ぶ

田川の未来に繋ぐ防災フェスタ

災害が発生したときに生き延びるための知識を学ぶことを目的に「田川の未来に繋ぐ防災フェスタ」が田川青年会議所の主催で6月8日、オークホールで開催されました。会場には、町が開設する避難所で使用するファミリールームの展示や災害をリアルに再現したVR体験、災害の知識を深めるすごろくなど多彩なコーナーを設置。また、消防・警察車両や九州北部豪雨の際に使用された自衛隊車両の乗車体験もあり多くの人々が興味津々に見学していました。さらに防災食の試食や販売などもあり、子どもから大人まで楽しみながら貴重な体験をする一日となりました。

↓問題に答えながら進んでいく防災すごろく



↓元総務大臣武田良太さんの防災講演もありました



↑VR体験コーナーには子どもたちの行列が



↑大好きな白バイ隊員の制服を着て、ハイポーズ

↓「大きくなってね」と声をかけながら、そっと優しくヤマメを彦山川に放流するくるみ保育園の園児



ヤマメが生息する彦山川へ

添田遊釣会、くるみ保育園ヤマメ放流

5月29日、添田遊釣会(米木一雅会長)の皆さんと、くるみ保育園の園児15人がヤマメの稚魚を彦山川に放流しました。今年は令和4年の豪雨で被災した下落合地区の彦山川河川敷復旧工事が完成し、2年ぶりに整備された河川敷で行われました。園児たちは彦山川の上流、篠崎川魚店の養魚場で育てられた体長7センチほどのヤマメの稚魚を一人ひとりバケツに入れてもらい、川辺に整列して一斉に放流します。この日園児たちが放流した稚魚は、およそ800匹。「お魚かわいいね」、「お魚逃がすの楽しいね」と話しながら楽しそうに放流していました。